

スクッピーだより



【発行】調布市子ども発達センター 〒182-0032 調布市西町290-49
TEL/042-486-1190 E-mail/ ayumi@city.chofu.lg.jp FAX/042-486-3147

今回は調布市子ども発達センターについてもっと知っていただくため、センターで行っている「相談事業」「発達支援事業」「通園事業」についてご紹介します。

相談事業

利用事業の担当者だけでなく、相談担当の職員にもご相談いただくことができます。

センターを利用して、分からないこと・困っていることや、誰に相談してよいのかわからないことなど、お気軽にご相談ください。

また、保護者の希望や同意の上で、在籍する園や学校、市役所の関係する課や医療機関などと連携し、お子さんの発達を促す環境づくりのお手伝いもしています。



ご相談は、電話、メール、ファックスでお受けしています。

☎電話/042-486-1190 ✉メール/ayumi@city.chofu.lg.jp 📠FAX/042-486-3147

【就学後もお悩みをご相談ください】

お子さんが18歳になるまでのご相談もお受けしています。

「学校生活に馴染めない」「勉強についていけない」など、学校生活や家庭生活についてお困りのことがありましたらご相談ください。適切な支援方法を一緒に考えていきましょう。



保護者向けの講習会や市民講演会などの企画もしています。窓口で配付するちらしや館内掲示でご案内しているほか、「お知らせメール」でも案内をお送りしています。ぜひこの機会にご登録ください。

「お知らせメール」のご登録方法は、スクッピーだよりの4ページに掲載しています。

発達支援事業



専門的な知識やスキルをもった職員が、お子さんの療育（発達支援）を行ないます。個別やグループ、関わる職員など、それぞれの療育によって特色があります。お子さんの年齢や発達状況等に応じて、どのような療育を行なっていくか、保護者の方と相談しながら決定していきます。ここでは、それぞれの内容や対象などをご紹介します。



グループ療育

親子グループ

親子で参加することで、お子さんの興味などに気付いたり、さまざまな遊びや関わり方を知る機会にもなります。

● 1・2歳児（各年齢別のグループ）

運動遊びで全身を使って遊んだり、親子でペープサートや手遊び、ふれあい遊びを楽しんだりします。

● 3・4・5歳児（各年齢別のグループ）

主に心理士や言語聴覚士が関わります。グループごとに、お子さんの発達状況等に合わせた課題を設定します。活動を通して、コミュニケーション能力や集団生活での適応力の育ちを支援します。

● 作業活動グループ

3歳～5歳児のお子さんが対象です。主に作業療法士が関わります。職員やお友だちと一緒に、大型遊具を使ってたくさん身体を動かして遊んだり、机上で製作課題に取り組みます。

● 運動療法グループ

運動療法を行なうお子さんを対象としたグループです。

幼児グループ

お子さんのみで参加するグループです。3歳～5歳児のお子さんが対象です。グループのお子さんの発達状況に合わせて、絵本などの注目して楽しむ課題や運動遊び、簡単なルールを取り入れた遊びなどに取り組みます。お子さんの身体の発達状況に合わせて、大型遊具の部屋を利用することもあります。

個別療育

言語・心理療法（親子参加）

ことばやコミュニケーション、発達全体に支援が必要なお子さんを対象としています。発達状況に合わせた楽しい遊び・課題を通して、お子さんの育ちを促します。

作業療法（親子参加）

日常生活で、動作や活動などに支援が必要なお子さんを対象としています。大型遊具で身体を動かしたり、手先を使った課題に取り組みます。

運動療法（親子参加）

歩行が始まるまでのお子さんを対象としています。さまざまな遊具を使って全身を使った遊びを楽しんだり、おもちゃを使って手先を使うことを楽しみます。

☆療育の中で、保護者の方とお子さんの発達状況を共有したり、専門職から必要なアドバイスをさせていただく時間を設けています。



どの療育も、専門知識をもった職員が携わり、子どもたちが「たのしい！」「気持ちいい！」「もっとやりたい！」と思えるような遊びや課題を用意しています。

お子さんに適したよりよい関わり方について、一緒に考えていきましょう。



通園事業あゆみ

通園事業あゆみは、児童福祉法に基づいた「児童発達支援」事業です。

3～5歳児のお子さんが対象です。一人一人の可能性を引き出すよう、子どもたちの発達に応じた療育をしています。遊びの中で、一人ひとりが楽しい時間を持てること、人と関わることの楽しさや心地よさを感じることを大切にします。

また、ご家庭と協力して、日常生活の基本的な生活習慣を身に付けます。

●定員 40人
4クラス うさぎ・りす・こあら・ぱんだ（1クラス10人）

●利用日 週5日 9：30～14：30

●1日の流れ

8：30	送迎バス出発
9：30	登園・朝の支度
10：00	クラスの活動・★各種療法 等
11：30	給食
13：00	クラスの活動・★各種療法・お昼寝等
14：00	帰りの支度
14：30	送迎バス出発

《活動》

あつまり
外あそび
運動あそび
製作あそび
感触あそび

《行事》

夏まつり
運動会
子どものつどい
卒園式



★各種療法

音楽療法、言語・心理療法、作業療法、運動療法

◆給食◆

お子さんに興味を持ってもらえるような献立づくりや、食育活動に力を入れています。

スープづくりをしたり、野菜栽培は種まきからしたりと、食材を身近に感じるような取り組みをしています。

また、お子さんの発達に合わせた食形態にも対応しています。



◆保護者勉強会◆

言語心理療法、作業療法、音楽療法などの各種勉強会があります。歯科衛生士や小児科医に話しを聞く会もあります。

◆保護者の活動◆

父母会・・・在園児の保護者の方が親睦を深めるとともに、行事のときはお手伝いをしていただくなど、子どもたちの通園あゆみでの生活をサポートしていただいています。

さまざまな事業を通して、子ども発達センターがお子さんの成長を見守り、子育てをする保護者の応援者であることをお伝えできればうれしいです。



発達相談コーディネーターのご案内

子ども発達センターには、子どもの発達相談に関する総合案内窓口として、発達相談コーディネーターを配置しています。

保護者の心配ごとをお聞きし、心配ごとを整理して、情報提供をしたり、適切な支援機関をご紹介します。

調布市内・近隣の市区にある施設等の情報をまとめ、わかりやすくお伝えします。



保育園や療育施設、教育機関の情報提供や、連携、橋渡しを行います。

どんなにささいなことでも大丈夫です。お話しすることでスッキリすることもありますので、お気軽にご相談ください。

※ コーディネーターが不在の場合でも、相談担当にご相談できます。

☎電話/042-486-1190 ✉メール/ayumi@city.chofu.lg.jp 📠FAX/042-486-3147



知っていますか？

<お知らせメール>

子ども発達センターでは、センターの催し物やイベント、スクッピー友の会（センター利用者の父母会）、調布心身障害児・者親の会などの催し物などのお知らせを、ご希望の保護者の方へメール配信しています。（卒園した後も、イベントなどのお知らせを配信します。）事業の急な中止、イベント開催方法の変更や中止などのお知らせも配信しますので、ぜひご登録ください。

* お知らせメールの登録方法 *

1 子ども発達センターメールアドレス（ayumi@city.chofu.lg.jp）にメールを送信

【送信内容】

（1）メールタイトル・・・「お知らせメール配信希望」

（2）本文・・・・・・・・①お子様の氏名、②保護者氏名、③電話番号、④お子様の生年月日

2 センターの職員がテストメールを送信

メール受信制限などをされている場合もありますので、こちらからお送りするメールが届くか、メール配信テストを行います。

3 テストメールが届いたら、届いた旨を返信

4 職員がメールアドレスを登録して完了



QRコードからメール画面にとべるよ！

